



# 横瀬町議会だより

No.98 2013. 4.15 発行

紹介します！  
町の団体⑤

## 「私たちは婦人会です！」

私たちは、町の主催する事業（敬老会・町民体育祭）等への手伝いや、研修旅行・生花教室など、会員の親睦を深めつつ活動しております。  
（町民の皆様には、バザーでのご協力ありがとうございます）

会員 88名 会長 岸岡敬子



平成 25 年度の  
町のお金の使い

道が決まりました。何にいくら使う予定なのかを町民 1 人あたりに換算してみました。前年度の数字（議会だより 94 号に載っています）と比較してみてもいかがでしょうか。

議員が町のさまざまな問題について質問する「一般質問」は 5 ページから。写真をふやし、見出しを大きくしてみました。

こちらもぜひ、ごらんください。

「西武秩父線の存続・維持を  
求める決議」を可決

P.8

4 月臨時会

町に聞いた「6 名の議員が登壇」

P.5

一般質問

提出議案と審議結果

3 月・4 月臨時会  
3 月定例会

P.4

下横瀬橋の補強工事を実施

P.2

平成 25 年度の予算を可決

3 月定例会

## 平成 25 年度予算の あらまし

一般会計の予算総額は、33 億 1,600 万円と昨年度予算 31 億 3,700 万円より 1 億 7,900 万円 (1.1%) 増加。同じく国民健康保険等特別会計は、20 億 2,597 万円で 1.0% 増、水道事業会計予算も 4 億 6,349 万円と 1.4% 増。

観光案内所の開設支援、もみじ植栽等による里山景観づくり、野外音楽施設整備などの「魅力プロジェクト」、合宿誘致推進等の「絆プロジェクト」、災害に強いまちづくりや下横瀬橋の拡幅(歩道付)補強工事等の「希望プロジェクト」を重点施策として推進する予算となっています。

# 平成 25 年度予算で 下横瀬橋の拡幅 補強工事を実施!

## 平成 25 年度 町のお金の使い道は…… (単位: 万円 1万円未満四捨五入)

町が使う見込みのお金 (歳出)  
**33 億 1,600 万円**



一般会計予算、  
数字で見ると……

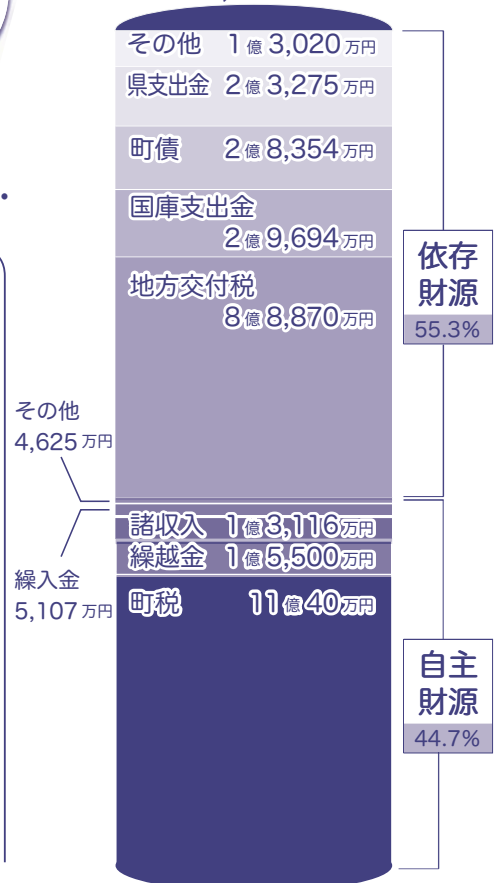


町民 1 人あたり  
**36 万 9,470 円**

- 福祉等の充実に (民生費) 9 万 3,415 円
- 計画推進のため (総務費) 6 万 7,790 円
- 土木工事などに (土木費) 5 万 2,610 円
- 学校教育等に (教育費) 4 万 1,724 円
- 借金の返済に (公債費) 3 万 4,783 円
- 町の衛生のため (衛生費) 2 万 8,262 円
- 町の消防のため (消防費) 2 万 858 円
- 商工振興のため (商工費) 1 万 528 円
- 農林水産振興に (農林水産費) 1 万 118 円
- 議会のために (議会費) 7,371 円

※平成 25 年 3 月 1 日現在の人口 (8,975 人) で計算  
※小数点以下は切り捨ててあります。

町に入る見込みのお金 (歳入)  
**33 億 1,600 万円**



依存  
財源  
55.3%

自主  
財源  
44.7%

# 一般会計予算、議会はここに注目！ 主な質疑と討論

**問** クラウドサービス導入のメリットは。

**答** 経費削減、セキュリティの向上等です。

**問** 本庁舎設備改修の主なものは。

**答** 議場の設備が老朽化しているので、音響・録音機・カメラ等を含めて改修するものです。インターネット放送への対応は、現状考えていません。

**問** 野外音楽施設建設工事(設計委託料合わせて450万円)は。

**答** 旧役場跡地に音楽用の野外ステージをつくるものです。

**問** 地域公共交通実証運行事業(ブローさんバス)は1700万円余の事業費だが、既に西武バスに補助金として約700万円ほど支払っている。今後どのように両立していくのか。また、遠距離通学の児童なども対象にできるよう考えていかないのか。

**答** 地域交通アクションプランを策定し、よく考えていきます。

**問** 旧若ヶ久保小学校の今後の展望は。

**答** 防災対策等の課題がありま

す。費用対効果等を勘案して、機が熟すのを待ちたいと思います。

**問** 里山景観整備委託料は何をするのか。

**答** 緊急雇用の補助金を利用し、もみじ等の植栽を考えていきます。

**問** 学校用地などの借地部分は、計画的に買収していくべきでは。

**答** 計画を立てるには至っていませんが、借地の町有地化は予算等全体を見ながら進めていきたいと思えます。

**問** 人口減や高齢化により、国民健康保険会計など、特別会計等の負担が重くなってきた。対策が必要では。

**答** 健康検診の受診率を上げたり、予防医療を促進するなど、ソフト面の対策が必要だと思います。

**問** 飲料水供給事業はあまりに少額であり、水道事業に合算する考えはないか。

**答** 将来、水道事業とともに広域化にもっていきたいと考えます。

## 予算案に対する賛成討論

大野伸恵議員より

今回予算計上された観光振興団体助成補助金は、私が一般質問でも取り上げ、お願いした思い入れのあるものであり、賛成をしたい。

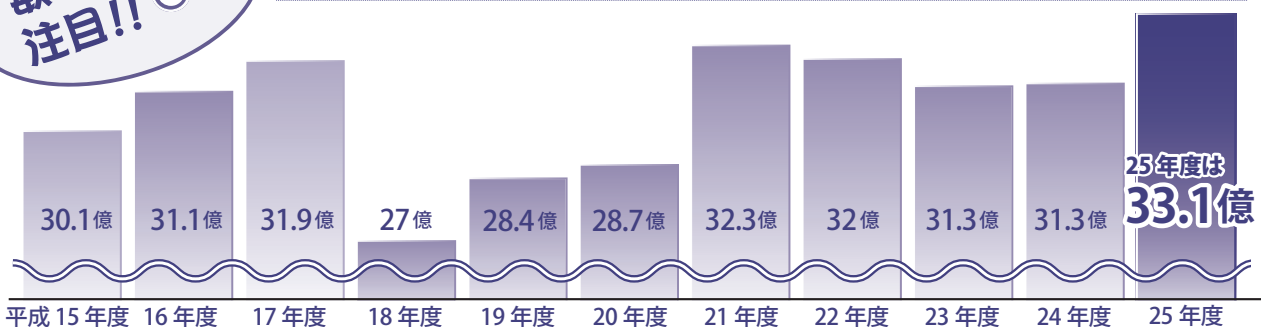
この振興団体により、行政の枠を超え、産業界が活躍してほしいと願っているが、各事業には不安を感じるものもあり、地域公共交通実証運行事業など、今後を見守ってほしい。執行に当たっては、次世代にツケを残さない、次世代に生きるものとなるよう十分注意してほしい。加藤町長の初登庁時の訓示である「町長を見るな、町民を見る」の心で、全町民に対し、公平で公正な予算執行を期待する。

関根 修議員より

一般会計において、33億1600万円が予算計上されたが、町の将来像である「緑と風が奏でるところ和むまち」の実現に向け、また「住民主体のまちづくり」「職員の質の向上及び組織の活性化」「財政の健全性の確保」を町の運営方針とともに慎重に予算編成がされていると感じる。

執行部の創意工夫と住民との協働により、今年度の重点施策の成果ある執行を期待するものである。町長初め執行部各位のご努力に対し、敬意と感謝の意を表し、上程中の6議案に対しての賛成討論とする。

## 一般会計予算総額の推移



(単位:億円 小数点2位以下切り捨て)

用語解説(予算用語)「地方交付税」:町の判断で使い道を決めることができる「一般財源」として、国から交付されるお金です。町の財政で歳出規模に比べて不足している歳入はこの地方交付税で賄っており、横瀬町の25年度予算では歳入全体の約27%を占めています。(4ページに同じ)

数字に注目!!



用語解説(予算用語)「臨時財政対策債」：地方交付税の財源不足の穴埋めとして国の許可により自治体に借金をさせるのが臨時財政対策債。実質的には地方交付税の代替財源で、返済は後年度の地方交付税で100%処置されますが、町が自らの責任において行う借金であることには変わりなく、国の財政が不透明な今日、慎重に対処すべきと思われます。

## 平成 25 年 1 月臨時会 提出議案と審議結果

### 指定管理者の指定

横瀬町地域振興拠点施設指定管理者の指定について  
(有限会社果樹公園あしがくぼを再指定)

横瀬町観光案内所指定管理者の指定について  
(有限会社果樹公園あしがくぼを再指定)

横瀬町総合福祉センター指定管理者の指定について  
(社会福祉法人横瀬町社会福祉協議会を再指定)

横瀬町コミュニティ防災センター指定管理者の指定について  
(横瀬町 13 区を再指定)

以上すべて 可決

### 条例を一部改正しました

横瀬町行政組織条例

### 人事案件

横瀬町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
加藤元弘氏を再任

横瀬町教育委員会委員の任命について  
浅見 進氏を新たに任命 以上すべて

### 議員提出議案

横瀬町農業委員会委員の推薦について  
鈴木紋子氏 村越通子氏を推薦

## 平成 25 年 3 月定例会 提出議案と審議結果

### 平成 25 年度 各会計予算

一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・下水道特別会計・水道事業会計  
以上すべて 可決

### 条例を制定しました

横瀬町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する事項並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

横瀬町指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する事項並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

横瀬町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

横瀬町が管理する町道の構造等の基準を定める条例

横瀬町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

以上すべて 可決

### 規約の変更

埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について

埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について

以上すべて 可決

### 平成 24 年度 各会計予算を補正しました

一般会計 (5 回目)・国民健康保険特別会計 (3 回目)・介護保険特別会計 (4 回目)・後期高齢者医療特別会計 (2 回目)・下水道特別会計 (2 回目)・水道事業会計 (4 回目)

以上すべて 可決

### 条例を一部改正しました

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

横瀬町重度心身障害者医療費支給に関する条例

横瀬町健康長寿祝金支給条例

横瀬町青少年問題協議会設置条例

横瀬町スポーツ交流館条例

以上すべて 可決

### → 質疑がありました

**問** 交流館についての使用の優先順位はどのようになっているのか。

**答** 3 ヶ月前から予約が可能です。

**問** 町民グラウンド・中学校体育館・旧芦ヶ久保小学校はどのようになるのか。

**答** 交流館と同じ方向で検討中です。中学校体育館については学校教育優先ですが、空いていれば使用できます。

**問** 受付はどこか。1 ヶ所でしたほうがよいのではないかと。

**答** 予約システムの導入を考えています。

### 人事案件

横瀬町副町長の選任について  
渡辺利夫氏(右写真)を再任

横瀬町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
竹内 功氏を再任



以上すべて 同意

## 平成 25 年 4 月臨時会 提出議案と審議結果

### 決議が提出されました

西武秩父線の存続・維持を求める決議

### 人事案件

横瀬町公平委員会委員の選任について  
宮下幸次郎氏を再任



ないとうすみお  
内藤純夫議員が聞く！

## 新年度予算と今後の の事業展開は

**問**

平成25年度予算の内容及び今後の展開について、

- ①現在、町内を走行している「ミニユ一テイバス関連事業
  - ②見守りネットワーク関連事業
  - ③寺坂棚田の関連事業
- 以上3点、今後の展開を伺う。

**答**

まち経営課長…①今までの試験運行利用実績を踏まえ、た分析を含め、横瀬町の地域公共交通の今後の方向性を検討し、アクションプランを策定します。  
健康づくり課長…②三河屋ブローさん（御用聞き）事業や災害時要援護者の再確認をいたします。  
また、保健師による65歳の方への訪問を行います。  
振興課長…③「ホテルかがり火まつり」「彼岸花まつり」等、イベントの助成を行うほか、イベント広場等の確保を図ります。

**問**

政府・与党が「幼児教育無償化連絡協議会を3月に設置することを決定」と国の幼児教育の方向性が出た。

幼保一体化の流れの中で、今後の横瀬町の保育所及び幼稚園に対する行政の方向性について、計画等があれば伺いたい。

**答**

副町長…国の動向を見きわめて、検討してまいります。幼稚園に対しては、前向きに協力していきたいと思っております。



棚田の景観

**問**

地域住民の方たちが、自分で解決できない事柄を役場にお願ひしたときに、「役場ではできない。自分たちができることは自分でやってください」ではなく、協働でやりましょうという考え方で取り上げてもらえないか。

**答**

副町長…町に依存するのではなく、町と住民の役割分担の考え方でサポートし、支援していきたいです。

**問**

住民の声を、行政が地域コミュニティなどと調整し、介入役となり実現することが、「住民主体・住民協働のまち」と考えるが、役場としてはどう考えているか。また、他町にある協働のまちづくり条例については考えないか。

**答**

副町長…住民が自立して行動すること。町と住民が対等の立場でまちづくりに取り組むことなどで、棚田などの事業で実



おおののぶえ  
大野伸恵議員が聞く！

## 住民の方が役場にお願ひしたときに

**問**

実践しています。具体的に提案していただければ、積極的に支援していきたいと考えます。  
条例化は考えていません。

**問**

町の地域産業の活性化については、雇用面・税収面において大切だと思う。新たな産業開発と従来の産業へのバックアップなどの取り組みと政策は。また、小規模事業所などの利用はどうか。

**答**

振興課長…町としても、新しい事業などを考えている人にはバックアップしていきたいと思っております。平成23年度では350万円弱の利用実績です。

**問**

暴力団排除条例などを可決したが、住民に意識してもらい、ともに同じ方向へ向けてのまちづくりのため、看板・垂れ幕等を設置しないか。

**答**

総務課長…前向きに検討していきたいと思っております。



一般質問とは、議員が政策提言も含めて町政全般について質問するものです。質問したい議員は、事前に「このように質問をします」ということを示した「通告書」を提出しておかなければなりません。なお、横瀬町の本会議一般質問の持ち時間は、原則1人1時間以内です。

# 「6名の議員が、町に考えを聞きました」

一般質問の記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています。全文は、図書館に設置されている会議録のほか、町ホームページからもご覧いただけます。「横瀬町議会 議事録」で検索してください。



小泉初男議員が聞く！

## 地元への雇用対策 について

**問** 今年の成人のうち、町内への就職者は役場の1名だけだった。町内の若者の地元での雇用創出や拡大に行政がバックアップすることが必要と思う。町独自の取り組みと地元企業への支援策や政策について伺う。就職アカデミーなどが必要と思うが、どうか。

**答** 振興課長：秩父の高校卒業生も厳しい現実です。国の県の対策ですが、町での側面的な支援はやっていきます。町長：就職について、今は若い人達が職のえり好みをします。また、都会指向が強いこともあります。親・子ともに将来について考えることが必要だと思います。

**問** 町内企業は経営基盤の維持が守られず、悲鳴を上げています。町の地場産業育成の対策と今後の取り組み方針について伺う。公共事業も強く進めてほしい。

熱海市では、職員が企業と一緒に新製品の開発に携わっていると聞いた。補助金のみでなく支援をしてほしいが。

**答** 振興課長：事業所用太陽光発電システム設置の補助金や利子補給金などを実施していきます。副町長：公共事業は順次進めていきます。

**問** 町職員の能力養成が必要と思われるが、取り組み姿勢や改善方針などの対策を伺う。

**答** 町長：ある一定レベルに達するよう、全職員のレベルアップに努力しています。町民の方を見て仕事をしよう言い続けたいと思います。



赤岩森夫議員が聞く！

## カエデによる まちづくりについて

**問** 町では、横瀬町の森林を活性化させるために、雇用対策事業でカエデの資源調査を行ったとのことだが、どのような特徴があるのか。また、樹液の活用についてどのように考えているのか。

**答** 振興課長：カエデの資源調査を、生川西流域・横瀬川流域・町有林を初め、多くの町内を調査した結果、特産品として十分活用できる。樹液の活用については、道の駅で4月にオープンする水辺のカフェで、紅茶とカエデの組み合わせで、特産品として販売していきたいと考えています。

**問** モミジの名所づくりについて、ボランティア活動によって里山の景観整備が始まっている。町では、モミジの名所づくりについてどう進めていくのか。また、平成25年度予算に関連するものがあれば、あわせて伺う。

**答** 副町長：長瀬町では、企業、団体が管理している。横瀬町には、当てはまるか分かりませんが、今後話し合ってみよう。



樹液採取の様子

**答** 振興課長：町内の各地に里山景観魅力アップ事業で、1000本の植樹を計画している。都市住民との交流の場として誘客していきたい。

**問** モミジの管理について、管理人を置く考えは。

**答** 副町長：長瀬町では、企業、団体が管理している。横瀬町には、当てはまるか分かりませんが、今後話し合ってみよう。



わかばやしそうちろう  
若林想一郎議員が聞く！

## 町のインフラ整備 促進について

**問**

昨年12月の中央自動車道(山梨県) 笹子トンネル天井崩落事故は、非常にショッキングな出来事であった。

「国の国土強靱化計画」「公共施設の老朽化」「自然災害に対する備えの強化」について、町の取り組みを伺う。

**答**

建設課長・上下水道課長：インフラ整備は、計画に基づき実施し、自然災害に対する備えの強化は、下横瀬橋の補強や関係機関への要望を行っていきます。

**問**

現在のようなきこそ行政手腕を発揮するよい機会。町の人口減を食いとめるには「インフラの整備」と「心の優しさを育てる」まちづくりが必要だとされているが、どう考えているか。

**答**

町長：アベノミクスに乗っていきけるよう、職員を激励していきたい。

**問**

町職員の定員適正化について、本町では緊急行財政改革のもと、職員数の目標を平成26年までに平成16年の99人から13人減の86人としているが、地方分権の推進に伴う行政需要の増大と高度化等に対して、組織及び定員配置の展開について伺う。

**答**

総務課長：行政の多様化・高度化等に対しては、その時代に適合した組織づくりを進めています。

**問**

上田県知事は、交付税削減に伴う県政運営上の影響について「ここ数年、国に対して地方は圧倒的に給与・定数削減が進んでいる。国からの削減要請は今も不当だと思っている」とコメントしているが、町長の見解は。

**答**

町長：今後、町の財政状況を考慮して判断していきます。



とみたよしなり  
富田能成議員が聞く！

## 人口9000人割れに 危機感もって対策を

**問**

人口減少に歯どめがかからず、ついに9000人を割り込んだ。平成22年策定の第5次横瀬町総合振興計画の計画フレームでは、平成31年度末で9000人の想定なので、既に大きく乖離してしまっている状況。危機感をもって早急に総合的な対策が必要と考えるが。

**答**

副町長：9000人を割っている現状及び、第5次総合振興計画における人口推計を早い段階で下回ったことは認識しています。思いのほか早く進んでしまったなと感じています。住宅や道路インフラの整備や観光振興等、あらゆる手だてを尽くして人口対策に努めたいと思います。

町長：人口減少は全国的な流れで、横瀬だけ人口が増えることはありません。

重要なのは、人と人とのつながりと社会資本の整備。人口対策について、こういうことをやればこうなるという考え方は、なかなか成り立ちません。我が国の人口減少に沿って、人口は必ず減っていきます。



芝桜植栽(横瀬駅構内)



国土強靱化計画…長期間にわたって持続可能な国家機能と社会の構築を図るため、東日本大震災を契機に安倍政権によって掲げられたもの。東日本大震災からの復興の推進や、大規模災害の未然防止、発生した場合の被害拡大防止と諸機能の代替性の確保の強化等がうたわれています。

# 4月臨時会

## 西武秩父線の存続・維持を求める決議を可決

西武秩父線の  
存続・維持を！



議会は4月3日に臨時会を開き、決議を可決しました。

西武秩父線は、町内を通る唯一の鉄道路線。地域住民にとって欠くことのできない公共交通機関です。



### 西武秩父線の存続・維持を求める決議

株式会社西武ホールディングスの筆頭株主であるサーベラスは、公開株式買付けを実施するにあたり、西武鉄道株式会社の西武秩父線の廃止を提案するとの報道が3月12日にあった。

西武秩父線は、秩父地域の住民にとって日常生活を行う上で欠くことのできない重要な路線であり、通勤、通学、観光、産業経済などあらゆる面で秩父地域の振興・発展のために、極めて重要な役割を担っている。

また、池袋線関係（池袋線、西武秩父線、西武有楽町線、豊島線、狭山線）が、東京メトロ副都心線を経由して東急東横線、横浜高速みなとみらい線との相互直通運転を3月16日に開始し、横浜方面に至る広域鉄道ネットワークが形成され、利便性が飛躍的に向上し、沿線観光資源や旅客流動のますますの活性化が期待されている。

このような状況の中、報道にあるような西武秩父線が廃止されることは、秩父地域の住民にとっては誠に遺憾であるとともに、地域の存亡にかかわることであり、到底承服できるものではない。

よって、横瀬町議会は、株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社に対し、秩父地域住民にとって重要な公共交通機関である西武秩父線の存続・維持を強く要請する。

以上、決議する。

平成 25 年 4 月 3 日  
横瀬町議会

### 横瀬町議会が全国町村議会議長会より、町村議会表彰を受けました。

1. 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会
2. 住民に開かれた議会
3. 地域振興のために特別な取り組みをした議会

以上3点の活動が認められ、表彰されました。

### 編集後記



議会の大きな権限の一つである、予算

審議を行う3月議会を終えました。予算は町民の皆様にとっても大切な、身近な事柄です。ことしの横瀬町の財布の中には33億円余の金額が入っています。このお金を上手に使うことが、町の仕事であり、それを議会がチェックしていくのです。行政の仕事は「住民の福祉の向上」です。皆様に満足していただけるように議会としても頑張りたいと思います。

日差しも日一日と強くなり、新しい季節へ向かって時が進んでいきます。私たちも今議会で前半の2年が過ぎました。思いを新たに後半に向けてダッシュしていきたいと思えます。(N・O)

### 「私たちが編集しています！」 議会だより編集委員会

委員長	町田勇佐久	
副委員長	大野 伸恵	
委員	関根 修	
委員	内藤 純夫	
委員	新井鼓次郎	
委員	富田 能成	